

応急手当の意義と基本

名前

解答

解答

問1 けが人や病人に対してその場にいた人がする手当を何と言うか。

(応急手当)

問2 傷病者を発見した場合、最初にすることはなにか。。

(安全な場所か、十分に応急手当が行える場所かなどを確認する。)

問3 傷病者の反応を確認するとき、反応がなかった場合はどうするか、3つ挙げよ。

(助けを求める) (119番通報)

(AEDの依頼)

問4 心配蘇生ではまず、なにを行うか。

(胸骨圧迫)

問5 きずの手当の基本を3つ挙げよ。

(出血を止める) (細菌感染を防ぐ)

(痛みを和らげる)

問6 出血が多い場合、なにをするか。

(止血)

問7 止血法にはどのようなものがあるか、3つ挙げよ。

(直接圧迫止血法) (間接圧迫止血法)

(止血帯法)

問8 骨折が疑われる場合、どこを動かさないように固定すべきか。

(患部)

問9 他人の止血を手伝うとき、ゴム手袋やビニール袋を利用することがすすめられる理由はなにか。

(血液に触れることによる感染を防止するため。)

問10 次の文について、正しいものには○で、間違っているものには×で答えよ。

①応急手当ををするかしないかで、生存率が大きく変わる。 (○)

②傷病人の反応の確認で、反応が確認された場合は救急車を呼ばなくて良い。 (×)

③怪我をした場合、傷口にできるだけ触れないようにする。 (○)

